





音楽集会 4年生

今日30日(木)は、朝から音楽集会がありました。今回の集会では、4年生が音楽の時間に学習しているリコーダー二重奏による「オーラリー」と合唱「もみじ」を披露してくれました。「オーラリー」は、なめらかな旋律で、音の重なりから曲想を感じ取ることができる楽曲です。また、リコーダー二重奏は、美しい高音が特徴的な主な旋律と低音でゆったりとしたリズムの旋律とを重ね合わせて楽しむことができます。「オーラリー」では、「サミング」という技法を使って、演奏にチャレンジしてくれました。サミングとは、リコーダーの裏側に1つだけある穴をおさえる親指の使い方のことをいいます。指使いはまったく同じでも、サミングを使って裏側の穴に、少しすき間をつくることで、1オクターブ高い音を出すことができます。4年生の子供たちは、高い「ミ」の音を出せるように。今日まで頑張ってきて、その成果が演奏の中でもしっかりと伝わってきました。

一方合唱曲の「もみじ」は、4年生の歌唱共通教材に指定されていて、日本の代表的な景色である紅葉の美しさを歌った楽曲として、多くの人々に親しまれてきた名曲です。私も小学生のころ2部合唱で歌った記憶があり、それくらい日本の伝統曲として歌い継がれてきています。普段の4年生の音楽の授業でも、子供たちはよりよい楽曲にするために自分たちで意見を出し合ったり、体でリズムを取ったりしながら歌っています。今回は、休校などで練習する期間は短かったのですが、自主的に練習するなどして仕上げてきました。

音楽専科の力田先生によると、「4年生は、今回初めて二部合唱に挑戦しましたが、他のパートにつられないようクラスでも練習を重ねて、本番はきれいなハーモニーを聴かせてくれました。リコーダーも音が揃ってなめらかに音をつなげて演奏することができました。」ということです。

最後に音楽委員会の子供から、楽器当てクイズがありました。音だけ聞いて、その楽器を当てるクイズです。子供たちは耳をそばだてて一生懸命音を聞いていました。

感想交流では、1年生の子供は「『 帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、クイズが楽しかったからです。」と述べ、3年生の子供は「『 帯西レッド』の心が伸びました。わけは、クイズや4年生の歌などをしっかり聴けたからです。」と述べました。そのお返しとして4年生の子供は「みんなで精いっぱい頑張ってきて繋いできて、今日みんなから拍手をもらえて嬉しかったです。」と述べていました。

4年生は、インフルエンザが急増する中、時間を一人一人が見つけて、自主的に練習する姿が素晴らしかったです。少しずつ曲想を意識しながら演奏しようとする姿に成長を感じることができました。

また、音楽委員会の皆さんも、感想交流の際の、返しの言葉が上手になってきており、音楽クイズもみんなが楽しく参加できるように工夫を重ねてくれて、感謝しています。

